



※「鍾馗(しょうき)」は、魔よけのため町家の屋根の軒先に置かれている像。守り神として伝えられています。

京都がなくなる… 京都でなくなる

地価高騰

観光公害

住民追い出し

大型開発

ホテル建設ラッシュ

町並みだけでなく、
歴史や伝統、暮らし、
京都の魅力が失われる

「違法民泊」の横行と「ホテル建設ラッシュ」によって、京都市中心部の地価はバブル期を上回る高騰です。まさに若者や子育て世代、お年寄り、お商売の方が住み続けられない事態が進んでいます。京都がこわされる、「応仁の乱以来の危機」と言われています。

ホテル建設ほとんど
外資や大手資本

京都こわしの最大の要因は、安倍内閣が大企業優先の成長戦略に観光を位置付け、「京都」を売り物にし、それに追随する京都府や京都市は何が何でも観光客を増やそうとしていることです。計画されているホテルの圧倒的多数は外資や京都以外の大手資本です。住民の財産、小学校跡地や公有地にもホテル建設が進んでいます。



▲ホテルになる元清水小学校

高さ規制緩和 大企業による大型開発も

さらに京都市は中心部の高さや容積率の規制緩和を計画。京都駅周辺や中央市場周辺での大規模開発を計画、京都こわしに拍車をかけています。日本共産党はホテルや観光客の総量規制を求めています。



今こそ まちこわしにストップを 日本共産党 京都府会議員団

住みたい・住み続けられる

まちに

交通 便利で 安全な山科



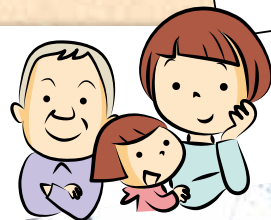
「バスを便利に」の声が引き続き切実です。コミュニティバスを求める運動も広がっています。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、バス路線の拡充を実現しましょう。4月からの稲荷山トンネル無料化で、新十条通の渋滞・交通量増加が心配されます。生活道路の安全対策と歩道の整備などが必要です。

災害 に強い 安心な山科

6年前の台風18号で大きな浸水被害をもたらした安祥寺川と四ノ宮川。日本共産党の追及で知事も管理責任を認め、河川整備が始まっています。昨年の台風21号では、毘沙門堂奥の登山道で数百本の倒木被害が発生。大雨で流されれば、再び安祥寺川氾濫の原因になります。2月府議会では対策を求め、府も支援を表明しました。

山科の「まちづくり戦略」～住民参加で抜本的見直しを

多くの山科区民が知らないうちに、京都市が「刑務所敷地の活用」などを盛り込んだ計画を決定してしまいました。周辺地域の切り捨て、「民間の儲け」のための地下鉄沿線の乱開発が心配されます。まちづくりは住民参加と合意が何より大事。最初から見直すべきです。



▲ 9月・台風21号で大量の倒木
(毘沙門堂奥の大文字登山道)
2019.3.4 撮影